リハビリテーション科
Department of Rehabilitation Medicine

外来受付
当院入院患者さんのみを対象としております。当院紹介に際しましてリハビリテーション介入・継続が必要とご判断された場合には、紹介科へその旨お伝えください。

詳細はこちら

診療科部長、教授
てらい　ひでとみ
寺井　秀富



専門
整形外科・リハビリテーション科

スタッフ

副
いけぶち　みつひこ
講師　**池渕　充彦**
【専門】 リハビリテーション科・整形外科

おおた　よういち
講師　**大田　陽一**
【専門】 リハビリテーション科・整形外科

診療科の特徴
当科は大学病院の機能上、入院患者さんのみを対象とし、大学病院ならではの先進治療（ロボット手術や TAVI など）に対応したリハビリテーションを提供しています。急性期リハビリテーションに特化しており、超急性期より介入を開始、患者さんの活動性の向上・維持に務めています。診療対象の多くは外科手術後の患者さんであり、整形外科を筆頭に心臓血管外科・肝胆膵外科・消化器外科など、高度手術の患者さんの術後リハビリテーションを請け負っております。また、心不全や弁膜症など、心疾患の患者さんに対するリハビリテーションを積極的に行っている点も当科の特徴となります。その他、大学病院ならではの神経難病や血液疾患、脳血管疾患や呼吸器疾患、がん治療の患者さんなど、小児周産期から終末期まで幅広い症例に対する急性期リハビリテーションに対応しております。当院紹介患者さんには、主科よりご紹介いただければ早期より診察･介入させていただきますので､紹介状などにリハビリテーションの早期介入希望とご記載ください。

対象疾患
[主力疾患]
【入院患者さんが対象となります。】
・整形外科疾患全般（脊椎・関節 etc.）のリハビリテーション
・心大血管疾患（心不全・心大血管手術）のリハビリテーション
・脳血管障害全般のリハビリテーション　・がんのリハビリテーション
・神経筋疾患のリハビリテーション　・脊髄損傷のリハビリテーション
・小児疾患のリハビリテーション　・切断・義肢のリハビリテーション
・摂食嚥下リハビリテーション

[対応できる疾患]
・脳性麻痺のリハビリテーション
・単麻痺患者さんのリハビリテーション
・二分脊椎のリハビリテーション　・小児周産期リハビリテーション

基本的に、当院へ入院されている患者さんは対応可能ですが、慢性期・維持期の症例に対するリハビリテーションには対応できない場合もございます。（例：発症後半年以上の脳血管疾患、手術が不要なレベルの慢性腰痛症、術後５ヶ月以上経過した人工関節置換術後など）

主な診療実績
リハビリテーション診察：約 3500 件 / 年

整形外科症例（運動器リハビリテーション）	約1000 件
心不全・弁膜症（TAVI 含む）症例（心大血管リハビリテーション）	約 460 件
心臓血管外科症例（大動脈瘤・ASO 含む）（心大血管リハビリテーション）	約 220 件
脳血管外科症例（高次脳機能評価含む）（脳血管リハビリテーション）	約 250 件
神経内科症例（脳梗塞含む）(脳血管リハビリテーション）	約 160 件
呼吸器疾患症例（手術症例含む）（呼吸器リハビリテーション）	約 100 件
肝胆膵外科症例（がんのリハビリテーション）	約 180 件
消化器外科症例（がんのリハビリテーション）	約 50 件
乳癌症例（がんのリハビリテーション）	約 250 件
泌尿器科（前立腺癌 DaVinci 手術症例）(がんのリハビリテーション)	約 100 件
婦人科がん症例 (がんのリハビリテーション)	約 50 件
血液疾患症例（がんのリハビリテーション）	約 80 件
救命救急部	約 160 件
廃用症候群（廃用症候群リハビリテーション）	約 80 件
その他疾患	約 440 件